

◆Windows 10 の不満点

HARBOR BUSINESS Online より

ネット上で目にする Windows 10 への不満を集めてみた。これから Windows 10 へアップグレードしようか迷っている人は、参考にしてほしい。

◆DVD ビデオの再生ができない

Windows 10 には、DVD 再生機能が標準で搭載されていない。別途「Windows DVD プレーヤー」をダウンロードすれば DVD 再生はできるものの、一手間かかってしまうのはいただけない。なお、Windows DVD プレーヤーは Windows 7/8.1 からアップグレードした場合は Windows Update から無償で利用できるが、Windows 10 をクリーンインストールした場合などは有償（1500 円）となる。

VLC Media Player などのフリーソフトで DVD 再生はできるものの、わざわざ標準だった機能を削除してしまうのはなんとも理解し難い部分がある。

また、Windows DVD プレーヤーをインストールしても、再生できないというユーザーも見受けられる。有料で購入しなければならない人は注意しよう。

◆Windows Update の更新タイミングが選べない（Home のみ）

Windows の更新作業を行う「Windows Update」。Windows 7/8.1 では更新のタイミングを選べたため、日中の作業中などは更新を避けることができた。しかし Windows 10 Home Edition では、更新のタイミングを選ぶことができないため、作業中などに作業を中断しなければならないことも。

Windows 10 Pro Edition を使えばいいことなのだろうが、Home Edition で充分というユーザーも多いはず。なぜ Windows Update のタイミングが選べなくなってしまったのだろうか、まったくもって疑問である。

◆「スタート」メニューが大きすぎる

「スタート」メニューにタイル表示が追加されたことで、「スタート」メニュー自体がとて大きくなくなってしまっている。個人的にタイル表示部分はほとんど使わないので、タイル部分は不要。しかし、これを非表示にすることはできない。

◆「設定」と「コントロールパネル」がある

Windows 10 の「スタート」メニューを左クリックすると「設定」という項目がある。これは Windows 10 から搭載されたもの。Windows 10 の設定が行える機能だが、実は「コントロールパネル」も存在する。

2つの設定画面があるのは少し混乱する。従来の「コントロールパネル」のほうが設定できる項目が多いので、そちらを使う頻度が高いユーザーも多いだろう。

なお、「コントロールパネル」を開きたい場合は、「スタート」メニューを右クリックして「コントロールパネル」を選択すればよい。

◆GUIのカスタマイズ項目が少ない

メニューやタイトル、ウィンドウバーのフォントサイズは変更することができるが、フォントの変更などは行えない。より詳細なカスタマイズをしたい場合には、フリーソフトをインストールする必要がある。

自分の思い通りのカスタマイズをしたいという人にとっては、Windows 標準機能で行えないのは不満だろう。

◆Microsoft Edge でフルスクリーン表示が使えない

Windows 10 から採用された新ブラウザ「Edge」。期待している人も多いだろう。その Edge にも不満の声が。フルスクリーン表示にしても、タブやナビゲーションバーなどが消えず、完全なフルスクリーンにならないのだ。

Web ページのみのフルスクリーン表示にしたい場合は、Windows アプリの「Internet Explorer」を使用しなければならない。

このほか、サードパーティ製のドライバ類が対応していない、メーカー製の独自機能に未対応といった、Windows 10 にアップグレードすることで起きる不具合の報告もある。

全体的には Windows 10 は小気味良い動作のいい OS だとは思いますが、ほぼ強制的にアップデートされてしまうというのは、あまり歓迎されるべきものではないだろう。

◆Windows 10 への自動アップグレード回避方法

さまざまな事情で、Windows 10 へのアップグレードをしたくないという人も多いだろう。そこで、Windows 7/8.1 からの自動アップグレードを行わないようにする設定方法を紹介する。

以前は、無償アップグレード対象の Windows 7/8.1 では Windows Update の「オプション」からアップグレードの設定が行えた。

しかし現在は、Windows 10 への無償アップグレードが「オプション」から「推奨される更新プログラム」に変更されている。そのため、Windows Update の初期設定のままでは自動的に Windows 10 へアップグレードされてしまうのだ。

これは設定を変更することで回避できる。Windows Update の重要な更新プログラムの設定を「更新プログラムを確認するが、ダウンロードとインストールを行うかどうかは選択する」に変更するのだ。

また、「推奨される更新プログラムについても重要な更新プログラムと同様に通知する」のチェックボックスを外しておけば、Windows 10 へのアップグレードは一覧に表示されなくなる。

Windows 10 にアップグレードをしても、それほど大きな不具合があるわけではないが、ソフト、中でもゲームなどは Windows 10 に対応していないものもあるかもしれないので、更新は慎重に行ったほうがいだろう。

<文・写真／三浦一紀 Twitter : @KazMiu>